

飛翔

HISYOU

スローガン 世界で一番通いたい学校

<めざす生徒像>

自主：正しく判断し主体的に行動する生徒
協調：信頼し助け合い、思いやりと感謝のある生徒
責任：責任を自覚し、最後までやり抜く生徒
勤勉：喜びを感じながら、主体的に学ぶ生徒
健康：逞しく生きるための意志や体力を持つ生徒

令和3年11月29日
枚方市立長尾中学校
校長通信第30号

13日(土) 大阪府中学校生徒会サミットに生徒会長が参加

大阪府教育庁は、生徒の自主的・主体的な姿勢を育み、各中学校における生徒会活動の充実を図るため、毎年「大阪府中学校生徒会サミット」を開催しています。コロナ禍ではありますが、今年度も13日の午後、大阪府府議会議場において府内全市町村の公立中学校と私立中学校の生徒会代表が参加し、「大阪からいじめをなくすに」をテーマに、いじめを起こさない学校をつくるために生徒会ができることについて意見交流や協議を行いました。枚方市の代表として本校から新生徒会長の小田 航史郎さんが参加しました。

大阪府庁で行われた「生徒会サミット」に枚方市立中学校生徒会の代表として参加しました。生徒会サミットとは、毎年、大阪府府議会議場に各市の代表となる生徒会長・副会長・執行委員などが集まり、その年のテーマについて協議・議論をする取り組みのことで、生徒会として学校をより良くするために何ができるのかを考えるものです。

今回のテーマは前回に引き続いて「大阪からいじめをなくすためにどうしたらいいか」でした。最初は全体意見交流を行いました。現在の学校のいじめや、いじめになりそうな場面について意見を出し合いました。どの学校もコロナウイルスの影響で人と話す機会が減り、LINEなどSNSを使う機会が増える中でいじめに発展・巻き込まれてしまうことや、多くの学校行事が中止・延期・縮小となる中で、友達やクラスの仲間との人間関係がうまく作れない、などの意見がでました。どの意見もたいへん共感できました。

次はグループごとに分かれて協議をしました。僕は交野市、泉佐野市の代表と一緒に、いじめをなくすためにどんなことができるかについて意見を出し合いました。「学校の生徒は仲が良く（一見）いじめはないように思える。」「いじめを出さないようにクラスでレクをする。」「班活動など協同作業をできるだけたくさん取り入れる。」などの意見が出ました。

最後は、グループ協議で出た内容について発表したり、それについて思ったことを交流したりしました。どの意見もすごく良かったです。長尾中にも取り入れたい、あったらいいな、と思うような取り組みや意見がありました。今回生徒会サミットに参加してみて、非常に良い経験ができたと思います。他の学校で出た意見を参考にしながら、長尾中をいじめのない更に良い学校にしていきます！！

枚方市立長尾中学校生徒会長 小田 航史郎



ひらかた菊花展に出品

10月27日(水)から11月15日(月)まで、枚方市役所前等で開催されていた「ひらかた菊花展」に、本校からも中嶋先生が中心に育てて頂いた大菊三鉢を出品していました。生徒会サミットに参加した帰りに、生徒会長の小田さんと一緒に会場の前を通り、長尾中の菊を見てきました。

他校の鉢と並んで赤黄白、それぞれの大菊三本仕立てが見事な花を咲かせていました。



階段アートを剥がしました…

1・2年生が文化祭で作成し、校舎階段を美しく飾っていた「階段アート」を、昨年度の反省（長期間糊付しておくとし跡が黒く残ってしまった…）を受け、文化委員及びボランティアで一斉に剥がしました。心を込めて作った作品が見られなくなるのは残念ですが、クラスみんなの気持ちがひとつになって制作に打ち込んだ思いは、いつまでも皆さんの心に残り続けるはず。来年度、コロナが終息すれば、1・2年生の文化祭は体育館でクラス合唱& Horizont制作と、本来の内容に戻る予定です。



明日、30日は3年生各クラスで公開研究授業を行います。他校からも多くの先生が来校されます。

人権講演会

「あきらめない心」と題して、パフォーマーのちゃんへんさんにお話し頂きました。

18日(木)に各学年がそれぞれ体育館に入り、プロのパフォーマーで在日コリアンの“ちゃんへんさん”に、ジャグリングとラップのパフォーマンスを交えながら、人権・平和・いじめ・夢について講演して頂きました。

ちゃんへんさんは朝鮮半島にルーツを持つ在日3世の方で、プロのジャグリングパフォーマーとしてこれまでにのべ82か国でその技や芸を披露されるなど、輝かしい実績をお持ちです。講演の中で、最初にその見事なジャグリングを次から次へと披露され、子どもたちの目を釘付けにした後、本題の人権の話に移られました。

お話の中でちゃんへんさんは、朝鮮半島の歴史や在日コリアンの歴史に言及された後、ご自身の生い立ち、学校での国籍ゆえの壮絶ないじめのこと、そしてそれをいかに乗り越え、自尊感情を育ててきたかを熱く語られました。また、夢を追い続けることの大切さを教えて頂きました。最後はミュージシャンとしての一面も披露され、自らの思いをラップのリズムにのせて歌い講演を締めくくられました。私にとっては2回目となるちゃんへんさんのお話しでしたが、ちゃんへんさんのオモニ(母親)の言葉が強く印象に残りました。

◇校長先生を怒鳴りつける！

「子どもにとっていじめほどおもしろいもん、なくなる訳ないやろ！」

「いじめよりおもしろいもん学校で教えてれ！」

(※ドキッとしました・・・)

◇いじめをした6年生に一喝！

「素敵な夢を持っている子はな、いじめなんかせえへんのや。」

「お前らのやってることはただの弱いもんいじめや。」

「強さを自慢したかったらルールのある世界で勝負せえ！」(※その通りです！)



今回の講演を通して子どもたちが本物の芸術に触れ、また、講師の方の自らの体験を直に聞くことで、豊かな心と感性と夢を育み、自分と自分以外の人の人権についてしっかりと考え、差別・いじめを決して許さない人になってほしいと願っています。ちゃんへんさん、ありがとうございました。

【学校あれこれ】



ある土曜日のお昼、美術室を覗くとアート部の二人が作品づくりを行っていました。左はペーパークラフトでつくるアーヘン大聖堂、右はUVレジン(紫外線硬化樹脂)でつくるアクセサリです。



アート部では近々作品展を考えているそうです。楽しみですね。



第一美術室廊下側の壁には、美術の授業で描いた「ゲルニカ」の模写作品が飾られています。たしか本物のゲルニカの絵は、色のないモノトーンで書かれていたと思いますが、生徒の作品には自分の思う色が個性的に塗られており、この壁一面だけ別世界にいるようです。



長尾中名物「良いとこ見つけ」今年もたくさんの良いところが見つかりました。



3年生が英語の授業中に英文で書いた紹介カード。私の独断で60枚選び、掲示しました。

I wish I could write in English like this.